

地球の耳鳴り	追想	Shine on us	レジスタンス	王と魔女	勇者の血
<p>僕はどうして産まれてきたの 誰に訊いても満たされない心 無意味に漂うことがつらくて ひとり静かに消えたくなる刹那</p> <p>深夜の海へと続く坂道 靴を脱ぎ捨て緩やかに踏み出す 素足に感じる砂のぬくもり 思考を侵す波音と満月</p> <p>ああ 今初めて気が付いた こんなに簡単な答え ああ 今初めて気が付いた</p> <p>僕らを作ったこの地球は 宙の月に恋してる 傍に行けない運命を 壊すために旅してる</p> <p>僕らが夜空を仰ぎ見るのは どんな星より近くにある星へ 想いを馳せるためだと答える 波のざわめき 耳鳴りのように</p> <p>ああ 狂いそうな恋心 こんなに単純な理由 ああ 狂いそうな恋心</p> <p>僕らは月に恋かされてる 宙の月に恋してる 初めから決められていた 設定が走り出す</p> <p>僕らを作ったこの地球は 宙の月に恋してる 傍に行けない運命を 壊すために旅してる</p> <p>何十億年すきてなお 宙の月を愛してる 少しでも近づきたくて 「僕ら(あたらしいのち)」を産み出したんだ</p> <p>「僕ら(あたらしいのち)」は そのために産まれたんだ</p>	<p>大切なものは 何ひとつとて 守れなかったから もう二度と</p> <p>魂を解いて 肉体を捨てて 私のすべてを嗜して もう一度</p> <p>君のもとへ 飛んでゆこう どんな風が吹いても</p> <p>鳥のように 翔けてゆこう 雨で道が消えても</p> <p>優いだけでは 何ひとつとて 残らなかったから もう二度と</p> <p>故郷を離れ 約束を破り この手が血にまみれても もう一度</p> <p>君のもとへ 飛んでゆこう どんな罰を受けても</p> <p>悔いぬように 駆けてゆこう 空が海に落ちても</p> <p>君のもとへ 飛んでゆこう どんな風が吹いても</p> <p>鳥のように 翔けてゆこう 雨で道が消えても</p>	<p>星の記憶を手繰って 伝う物語の雛 命 絆 繋ぎ 誘う 遠い旅路の果て</p> <p>冬に埋もれゆく花に 春の光をくれた 不思議と懐かい君は 宙を見上げる</p> <p>欠けた月の無くした影 消えた瞬きの欠片 拾い集め 君をただ想った気持ちの 名前を教えて</p> <p>悲しみはいつも鋭利な 刃のように切り裂く 涙流す心 君は気付かないふりをした</p> <p>焼き付く愛の形は 神話の時代からずっと 間違いと知っていても 人は繰り返す</p> <p>臘月の隠した罪 赦し 痛みさえもそっと 抱きしめて 君をただ想った気持ちの 名前を教えて</p> <p>満ちる月の指さす先 辿り着いた 宙の彼方 優しく降った 輝きは 二人を照らした いつまでも永遠に</p>	<p>あなたは目を閉じ 昔語り あなたは感情無く 読み上げる</p> <p>わたしは俯き 声に怯え わたしは感情秘め 嘘を吐く</p> <p>満たされずに 幾度も 繰り返す 無意味な罪</p> <p>鳥籠の鍵 閉め忘れていたのは、誰？</p> <p>せめて たった一つ 願いが あなたへ伝わるなら どんな御伽噺も 演じきましょう</p> <p>わたしは虚ろに 口を塞ぎ あなたを責めるように 見つめてる</p> <p>あなたは冷たく 言葉紡ぐ わたしを壊すように 嘘を吐く</p> <p>待ちきれずに 幾度も 繰り返す 無意味な罰</p> <p>鳥籠の鍵 失くしてしまったのは、誰？</p> <p>せめて たった一つ 事実を あなたが明かすのなら どんな世界であろうと 受け入れましょう</p> <p>脈打つ音も漏れる静寂 色の無い 砂だけ 空しく踊る</p> <p>一つ見つけた あなたの嘘を 掴み取る きれいな 作られた花</p>	<p>むかしむかしのはなし とある少女が 禍 熾す魔女に 目覚めた伝承</p> <p>幼い頃に母を亡くして一人 あてなく彷徨い続け 疲れ果てたとき</p> <p>差し伸べられた 暖かい手に 縋るように 「疲れたでしょう お休みなさい」 黒い荷馬車へ</p> <p>揺られ 揺られ 深い森の奥へ やがて意識 醒めて気付く恐怖 もう戻れない 涙 滲む視線には 黒い大きな 影が囁う 「待っていた 貴女を」</p> <p>むかしむかしのはなし 悪統べる王は 神によって裁かれ 森に封じられた</p> <p>神の力 薄れし 千年の後に 絶望宿す少女 王を解き放つ</p> <p>馬車も商人も 破壊尽くされ 森は二人</p> <p>しんと鎮まる 静寂の中 答え求める</p> <p>巡る 巡る 意識は渦の中 母の優しい笑顔 浮かび 消える 「貴方が傍に居てくれるというなら 運命として 受け入れましょう」 少女は答えた</p> <p>月日は過ぎゆき 二人の足跡は 灰と血が混ざり 真っ黒に染み込む ああ…</p> <p>燃えて 燃えて 生命の燃え滓よ たとえ 魔女と呼ばれ 蔑まれて 王に糧とされてはいるだけでも ただ 一人じゃない その幸せ 抱いて 散りゆく</p>	<p>祈りを捧ぐ巫女は ついに啓示を受け取る 「悲しみに満ちる世を救う 子が降りた」</p> <p>小さな村に生まれし 少年は剣を手に 神に選ばれし勇者と 呼ばれ免った</p> <p>何も知らないまま 何も愛せずに 何とも思わない世界を 守る意味とは…</p> <p>他人任せの人々は泣いて 勇者に懇願する 「自分たちの未来のため」 血を流して戦えと</p> <p>勇者に向けられるのは 裏に愚かな願いを 隠した顔の民衆 もう疲れ果てた</p> <p>何も知らないから 何も感じない 何とも思えない 世界が崩壊しようとは…</p> <p>剣は折れ 傷だらけの身体を休めても 心はもう癒されない 鬼神のような その姿</p> <p>ついに闇を討ち 光が世界包み 祝福を 平和な世界に 勇者は必要ない</p> <p>戦いだけが使命だった 孤独な少年が 流行り病に倒れたとは 知る者などいなかった</p>

月下美人	虚想	カメラリア・パレドへようこそ!	CEO! The Daemon Road is going to die soon.	CEO! The Daemon Road is going to die soon.	企画・制作
<p>たゆたう影 靡な夜 彷徨う 忘れし想い さざめく風 花卉舞い 置き去りのあの日々を ただ 臉へと映す</p> <p>満ち欠け揺らめいた 光に 照らされた 黒い瞳 満ち引き繰り返す 水面に 一滴 落ちて消え</p> <p>匂わず誘惑の香のように (甘い蜜はただの幻 嗚呼) そっと包んで欲しかったのに (指の隙間から零れゆく) 声枯らし叫んで 求めて求めて それでも届かない 君は</p> <p>霞んだ月 人知れず咲く 大輪の白い花 隠して流す涙に もう 別れ告げて 眠りにつく 夜の闇 溶けてゆく</p> <p>満ち欠け揺らめいた光は おぼろげな 過去を築く 満ち引き繰り返す水面に 挿伸ばし 波紋作る</p> <p>漂える感情のように (気まぐれに遊ぶ蝶の翅 嗚呼) 掴まなければ見失うから (幾多に振られた蜘蛛の糸) 目を逸らし 幽かな 助けを頼った 言葉も気付かない 君は</p> <p>一夜の華 ひらいた夢 孤独に行んで 悔やんだまま 溺びてゆく 哀れんでくれますか 嗚呼、醜いと笑って</p> <p>ひとつひとつ 剥がれてゆく いのちいのち 燃え尽きるまで すべて すべて 跡形も残らないように 壊して</p> <p>霞んだ月 人知れず咲く 大輪の白い花 悲しいほど 眩しい陽に 耐えられず 散った私を 今だけは 想っていて</p>	<p>きみは</p> <p>金色の瞳が 夜空に浮かぶ 満月のようにだと 楽しく笑う</p> <p>美しい嘘えが 孕んだ狂気 魂の底まで覗かれたのか</p> <p>ああ</p> <p>誰も埋められなかった この胸の空白を 埋められるのなら きみが悪でも構わない</p> <p>喜んで手足になろう</p> <p>きみは</p> <p>白銀の毛並みが 毒々しくも 血の色に塗れると 優しく責める</p> <p>戦いの刹那に 浮かんだ本性 上手に隠して いたはずなのに</p> <p>ああ</p> <p>ぼくの中で暴れる やるせない感情を 受け止めてくれた きみが全てで構わない</p> <p>最後まで一緒にいたい</p> <p>ああ</p> <p>使い捨ての命に 芽生え出した想いが ひとかけら残る きみの世界を彩ろう</p> <p>この身が朽ちた後までも</p>	<p>カメラリア・パレドへようこそ!</p> <p>CEO! The Daemon Road is going to die soon.</p> <p>ようこそ迷子のウサギさん 素敵なサアクスへ ピエロのナイフは偽物さ なのにも怖くない</p> <p>風船の糸を結んだら さあさ前の席へ 人喰いキメラは本物さ 檻に触れないで</p> <p>魔王が勇者に破れ 世界が平和になったって</p> <p>「我らは戦い続けよう! 退屈という名の魔物を殺せ、 カメラリア・パレド、いざ開演!」</p> <p>足の踏み場も探せ無い程に 散らした赤い薔薇の上で踊れ</p> <p>CEO! The Daemon Road is going to die soon.</p> <p>ようこそ迷子のウサギさん 素敵なサアクスへ 遅い腕にぶら下がりが 人が宙を舞う</p> <p>泣きべそ君が呼ばれたら さあさ舞台上へ 指を鳴らせばその涙も 鳩に早変わり</p> <p>近くて遠い彼方の 世界が恋しくなったらって</p> <p>「我らは君を導こう! 娯楽という名の剣を掲げ、 カメラリア・パレド、いざ開演!」</p> <p>息つく暇も探せ無い程に 満たした甘い霧の中で歌え</p> <p>帰りの道も探せ無い程に 暗いテントに迷い込んだら……</p> <p>足の踏み場も探せ無い程に 散らした赤い薔薇の上で踊れ</p> <p>息つく暇も探せ無い程に 満たした甘い霧の中で歌え</p> <p>帰る理由も探せ無い程に 彩鮮やかな世界に恋をして</p>	<p>CEO! The Daemon Road is going to die soon.</p> <p>ようこそ迷子のウサギさん 素敵なサアクスへ 遅い腕にぶら下がりが 人が宙を舞う</p> <p>泣きべそ君が呼ばれたら さあさ舞台上へ 指を鳴らせばその涙も 鳩に早変わり</p> <p>近くて遠い彼方の 世界が恋しくなったらって</p> <p>「我らは君を導こう! 娯楽という名の剣を掲げ、 カメラリア・パレド、いざ開演!」</p> <p>息つく暇も探せ無い程に 満たした甘い霧の中で歌え</p> <p>帰りの道も探せ無い程に 暗いテントに迷い込んだら……</p> <p>足の踏み場も探せ無い程に 散らした赤い薔薇の上で踊れ</p> <p>息つく暇も探せ無い程に 満たした甘い霧の中で歌え</p> <p>帰る理由も探せ無い程に 彩鮮やかな世界に恋をして</p>	<p>企画・制作 Rulotus：あたいわだれか(流浪の民)・悠花ユカ(ロータスルートオーケストラ)</p> <p>作詞 黒川うみ(黒川庵) [tr.1,2,8]・加藤慧 [tr.9]</p> <p>歌唱・作編曲・マスタリング あたいわだれか [作編曲 tr.1,2,4~9 / 編曲 tr.3]</p> <p>歌唱・作詞・作曲・イラスト・デザイン・web 制作 悠花ユカ [作曲 tr.3~7]</p> <p>※Track10：アイルランド民謡(作詞：Frederic Edward Weatherly)</p>	

Corpus ♫ Rulotus